

令和7年9月8日： 令和7年度第2回技術管理委員会議題

審議事項

○共同研究の終了評価

研究開発課題	新型圧力開放マンホール蓋および防臭防錆中蓋の機能検証	
研究開発の種類	簡易提供型共同研究	
研究開発者	東京都下水道局、東京都下水道サービス（株）、日之出水道機器（株）	
所管部署	施設管理部管路管理課	
研究開発期間	令和4年7月4日～令和5年3月31日、令和5年12月15日～令和6年3月31日	
研究開発目的	大雨や集中豪雨時に、下水道管路内の流れの乱れにより生じる下水道管路内空気圧の上昇に対し、下水道管路内空気圧の低下を図るマンホール蓋及び防臭防錆中蓋を開発することを研究目的とする。	
研究開発概要	<p>新型圧力開放マンホール蓋は、スリットを設け開口面積を通常の蓋より大きくするとともに、標準人孔鉄枠に適用できる構造とした。防食防錆中蓋は、フラップにより通常は閉じているため、防臭及びマンホール蓋裏面の防錆機能がある。管路内の空気圧が上昇した際は、フラップが浮き上がり、速やかに空気を排出する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>新型圧力開放マンホール蓋</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>防臭防錆中蓋</p> </div> </div>	
研究開発目標及び結果	目標①：新型圧力開放マンホール蓋が必要性能（互換性、耐荷重性、大量排気性）を有すること。	結果①：全ての項目について目標を達成した。

	<p>目標②：防臭防錆中蓋が必要性能（施工性、大量排気性、耐久性防臭性）を有すること。</p>	<p>結果②：全ての項目について目標を達成した。</p>
	<p>目標③：製品及び施工のコストが従来型と同等以下であること。</p>	<p>結果③：同等以下のコストであることが確認された。</p>
<p>研究開発結果</p>	<p>上記の研究開発目標を全て達成した。</p>	
<p>備 考</p>		